

■ 「秋田追分」の創作者

鳥井 森鈴

とりい しんれい

出身地 五城目町

1899年（明治32年）～1979年（昭和54年）

独学で民謡を究め、「秋田追分」を自作し世に広める。さまざまな民謡団体の運営に当たり、また公演、レコード吹き込み、ラジオ、テレビに数多く出演し、秋田民謡の興隆に貢献した。



年譜

- 1899年 五城目町に生まれる。本名・儀助。
- 1913年 五城目尋常高等小学校卒業。
- 1921年 鷹巣町宮野カネ子一座に民謡歌手として加わる。
- 1925年 大日本民謡研究会秋田県支部の結成記念民謡大会で2位。
- 1926年 自作「秋田追分」などをレコードに初吹き込み。
- 1947年 鳥井森鈴一座を結成。東北、北海道の巡業開始。
- 1950年 日本民謡会秋田支部の事務を担当。
- 1956年 日本民謡協会の技能賞を受賞。全日本民謡踊り大会に仙北の秋田音頭メンバーと参加、優勝。
- 1979年 五城目町で没。79歳。